

に  
ご  
り  
な  
き  
人  
の  
心  
や  
蓮  
沼  
の  
花  
に  
は  
ぢ  
ず  
と  
見  
る  
べ  
か  
る  
ら  
ん



温故知新っていうけれど  
昔の習慣を知って  
今の暮らしに感謝しよう

これからの時代.....



なつかしの  
暮らし探訪



昔と今

昔はよかった、というのは義理人情に厚く、親や年長者を尊敬する社会秩序があったこと。それに空気と水がきれいで、居住空間が広々としていたこと。今のよいところは、なんといっても戦争がないこと。身分や貧富による差が少ないこと。国民の多くが高学歴となり、社会全体が非常に合理的で話しが通じやすくなったことです。そして、衛生状態、栄養状態がよくなり、「人生僅か五十年」といわれたのが八十年前後にまで延びたことです。  
戦前は、自動車というのが非常に高くて、地方から出てきた人が故郷へ帰るのは、親が死んだときくらいでした。東京から熊本まで昭和三十年でも特急で二十九時間かかったものです。今は、日本中どこからどこへゆくにも日帰りか可能なほど交通機関が発達しています。人の命を救う医療も発達し、ペニシリンのようによく効く薬、がんの治療に使う放射線だって昔は考えられなかったほど進歩しました。お天気情報だって、かなり正確になりましたし、それらを伝えるのもラジオからテレビになりました。ラジオとテレビの差も大きなものです。さらに、コンピュータなるものが家の掃除から炊飯まで支配し、パソコンを使わないで成り立つ職業は少なくなりました。そして、パソコンの便利さ、操作を国民全員に普及させたい政府、私たちは右往左往、新しい時代を乗り切ろうとしています。こんな現在、これからは失われた義理人情をとり戻してゆかなくてはなりません。そのとき、お寺、学校の力が何よりの頼りとなります。お寺には、悪いも自然に残っています。どうぞ、よろしく。

マンガで楽しい仏教用語 漫画・藤井ひろし

後生大事

「ごしようだいじ」の後生は後に生まれる所、つまり来世のこと。浄土宗では極楽浄土を意味します。  
時々「後生だから」と言ってお願いや許しを得ることがありますが、それは大切な来世までお預けしますから、といった意味深い言葉なのです。  
ところで、後生自体を信じないと今の世を勝手気ままに過ごすことにもなりかねません。皆さん、後生は本当に大事にして下さいね。



御挨拶

20世紀もこの12月をもって終わります。年が明ければ2001年21世紀のスタートです。

憶えば20世紀は動乱の時代でした。先代住職の並々ならぬご尽力のもと御尊家皆様様の導い浄財により本堂はじめ諸堂も整い浄土宗古刹(750年間)の格式をお陰様で取り戻しました。

21世紀はこの立派になつた諸堂を活用させて頂き教化を充実致す所存です。どうぞ御気軽に寺の行事又ご信心の相談等に御参堂を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

年末にあたりこの一年間菩提寺に御支援御協力を賜りまして誠にありがとうございました。



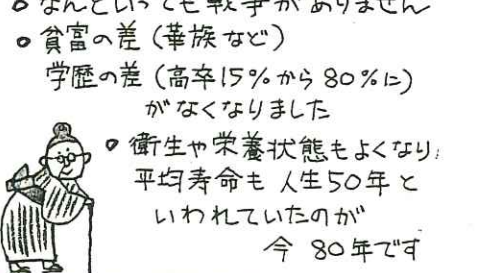
- 住所が変わりましたら恐れ入りますが お寺まで新住所を必ずお願い申し上げます。(電話(0475-86-2036) FAX(0475-86-3180)でもよいです)
- ご法事のお申込みは、日時が重なる場合がございますのであらかじめ お寺に御相談下さい。よろしくお願い致します。

昔はよかった.....  
社会全体が  
あたたかで  
義理人情こまやか



住宅事情もよく  
大家さんと店子もいい関係  
これからは  
義理人情も  
とり戻しましょう

でもやっぱり今のほうが!!  
○ なんといっても戦争がありません  
○ 貧富の差(華族など)  
学歴の差(高卒15%から80%)  
がなくなりました  
○ 衛生や栄養状態もよくなり  
平均寿命も人生50年と  
いわれていたのが  
今 80年です



情報の整理も!  
テレビ ラジオ  
インターネット  
電話  
フックシミリ

